



中 田 小

平成29年4月5日

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

住するところなきを、まず花と知るべし

校長 蒲谷 猛

『春風』

作詞：加藤義清

作曲：フォスター

- 1 吹けそよそよ吹け 春風よ
吹け春風吹け 柳の糸に
吹けそよそよ吹け 春風よ
吹け春風吹け 我等の風
吹けよ吹け 春風よ
やよ、春風吹け
そよそよ吹けよ
- 2 やよ、吹くなよ風 この庭に
風吹くなよ 風 垣根の梅に
やよ、吹くなよ風 この庭に
風吹くなよ 風 我等の羽根に
吹くな 風 この庭に
やよ、吹くなよ風
吹くなよ 風よ



※今年度も、ご家庭でお子さんと一緒に口ずさんでいただきたいという思いで、各号のテーマや季節に合う曲を掲載していく予定です。

学校菜園近くの桜には、毎朝、メジロの群れがやってきてつぼみをついばんでいます。東京近郊では桜満開の報道も聞かれるようになりましたが、校門近くの桜など数本を除き、本校の多くの桜はようやく開き始めたところです。まだまだ風は冷たいですが、日差しはすっかり春らしくなりました。

先月末になって、寒さを理由にずっとサボっていた、自宅の樹木の剪定をしました。赤く甘酸っぱい実のなるジュンベリーもかなり徒長枝がひどいので、いつもの台に乗って切ろうと思ったら届きません。脚立を出してきてなんとか剪定できました。ついこの間まで、娘が自分で実を摘んでは食べていたと思っていたのに、いつの間にか随分と大きくなっていくことに気づかされました。

樹木の生長は数年単位で意識されますが、子どもたちは日々変化する、成長著しい存在です。そのような子どもたちに寄り添う私たち教職員は、その変化や成長に合わせて自分自身も成長し、接し方を常に変えていかなければなりません。世阿弥の言葉に「住するところなきを、まず花と知るべし」という言葉がありますが、「常に変化しつづけることが、最も輝く方法だ」という意味です。子どもたちと一緒に私たち教職員も、ひとところに安住することなく変化し続け、子どもたちにとって魅力ある存在でいたいと思います。これまでの慣習にしばられたり、決めつけや思い込みをもって子どもを見たりしていたのではこのことは実現しません。

「明日も来なくなる学校」が、本校の学校づくりのテーマです。子ども一人ひとりが明日の登校を楽しみにできる学校にするためには、○認められ、生かされる喜び、○挑戦し、高まる喜び、○仲間とかかわり合う喜び、○安心して生活できる喜び、を味わうことができるようにすること不可欠であり、そのためには、子ども一人ひとりの変化や成長をしっかりととらえて、オーダーメイドの指導・支援をしていくことがまた不可欠だと考えています。

子どもの最も近くで常に寄り添っている保護者の方々と、また、思いをもちつつ客観的に本校の子どもたちを見つめ見守ってくださっている地域の方々とのコラボレーションを今年度もお願いして、より確かな「子どもの成長への気づき」を目指します。『子どもとともに成長する教職員チーム中田』として、本校の教育活動の充実に努めてまいります。ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。